

令和4年度 第1回 住吉区地域福祉専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和4年6月30日（木） 午後6時から午後8時
- 2 場 所 住吉区役所 4階 第4・5会議室
- 3 出席者
(委 員)
稲田委員、大谷内委員、北原委員、西田委員、八牟禮委員、藤居委員、
宮川委員、山下委員、吉田委員、
小野アドバイザー
(区役所他)
区長、副区長、関係課長、課長代理、担当係長
住吉区社会福祉協議会 事務局長、地域支援担当係長
- 4 議 題
報 告
(1) 住吉区地域見守り支援システム進捗状況について
(2) 地域座談会の開催状況について
(3) 住吉区地域福祉ビジョン Ver. 2 令和3年度事業の進捗状況について
- 議 事
○ 住吉区地域福祉ビジョンVer. 2 令和3年度事業総括と令和4年度事業
計画について
- 5 議事要旨等
○ 「住吉区地域福祉ビジョンVer. 2」の令和3年度事業を総括するとともに
令和4年度事業計画について意見をいただいた。

主な委員意見

- 総括で、(2) ③のA「総合的な支援調整の場（つながる場）」の活用について、昨年作成された「住吉区相談支援機関ガイドブック」は良い取組みなので評価に入れるべき。
- つながる場の個人情報の取扱いについて、複合課題を抱えた世帯であっても、個人情報の取扱いが壁になってつながる場につけられない場合がある。必要なケースについては、個人情報の取扱いができるように検討してもらいたい。
- ヤングケアラーについて、大阪市において市立中学校の生徒にアンケートを実施しているが、区としても区内中学校に調査を行うなどして実態を掴み、取組みを深めていってほしい。

- 学校が抱えている問題 不登校、家に引きこもらないようにどのように支援していくのか。福祉支援が必要。
- 住吉区は **NPO** との連携が無い。福祉的支援において **NPO** がきめ細やかな支援を行っている。そういう **NPO** との連携を図っていくべき。
- ヤングケアラーについて、地域ではまだまだ知られていない。わかってもらえたらいいなと思う。
- 小地域に多様性を担保していかないと、ヤングケアラーや引きこもりなど様々な社会課題が表に出てこないのではないか。これからはいかに種別を打破していくか、縦割りを廃し、専門職や行政機関が種別を打破することを意識しながら地域づくりをやっていく必要がある。

6 令和4年度の開催日程について（予定）

- 第2回 令和4年9月22日（木） 午後6時から
- 第3回 令和5年2月16日（木） 午後6時から